

社会福祉法人 植竹会

令和6年度 事業報告

## 法人理念

子ども達のゆたかな成長を支援し、高齢者のゆたかな老後を支援する

### 令和5年度 社会福祉法人 事業報告

- ゆたかごはん
- 認知症サポーター養成講座
- 知ってもらおう介護の仕事
- なんでも福祉相談（群馬県圏域公益的事業）
- ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）ホームビジタースキルアップ研修
- BCP策定検討（地震想定）
- SNSによる日常の発信

令和6年度 理事会・評議員会

- |     |                    |  |
|-----|--------------------|--|
| 第1回 | 理事会<br>議案<br>報告    | 令和6年6月5日(水) 午前10時～11時<br>・令和5年度 事業報告並びに収支決算報告について<br>・令和6年度 定時評議員会の開催日と議題について<br>・短期入所20床を特別養護老人ホーム20床への転換申請について<br>・規程の一部変更について<br>・理事長の職務執行状況の報告     |
|     | 定時評議員会<br>議案<br>報告 | 令和6年6月20日(木) 午前10時～11時<br>・令和5年度 計算書類・財産目録の承認の件<br>・令和5年度 事業報告の件   |
| 第2回 | 理事会<br>議案<br>報告    | 令和6年11月28日(木) 午後10時～11時<br>・保育園職員駐車場土地購入について<br>・令和6年度 第1回補正予算について<br>・就業規則の変更について<br>・理事長の職務執行状況の報告<br>・短期入所20床を特養20床に転換する申請について                      |
| 第3回 | 理事会<br>議案          | 令和6年12月10日(木) 付 書面審議<br>・運営規程の変更について   |
| 第4回 | 理事会<br>議案<br>報告    | 令和7年3月25日(火) 午前10時～11時<br>・令和6年度 第2回補正予算について<br>・令和7年度 事業計画案並びに収支予算案について<br>・各種規程(経理規程、就業規則、運営規程、園則)の変更について<br>・市の監査報告<br>・施設の防水工事予定<br>・理事長の職務執行状況の報告 |

## 令和5年度 事業報告

### ゆたか保育園・ゆたか第二保育園

#### 1) 行事関係

4月 入園式

5月 いちご狩り・ジャガイモ堀（さくら組）

6月 内科検診・歯科検診・お泊り保育・年長組遠足（華蔵寺公園）

保育参観・各クラス遠足・田植え（ゆずりは会）・引き渡し訓練

7月 プール・七夕・納涼祭

8月 プール遊び

10月 運動会・稲刈り・キッズニア遠足

11月 焼き芋・保育見学

12月 クリスマス会・発表会

1月 もちつき

2月 節分・年長組ゆきあそび

3月 ひな祭り・内科検診・卒園式

毎月・・・誕生会・避難訓練・身長体重測定

※老人ホームの方との交流については、その時の感染状況を踏まえ、交流を行うことができた。保育参観、お泊り保育も通常開催ができるようになった。運動会については、豊受公民館の建て替えの関係もあり、園庭での練習となったが、本番も練習同様出来ていた。発表会は、前年度と引き続き2部体制で行った。保護者も参加できる合奏などもあり、楽しんでい

ただけたよう。各種行事についても、通常の予定通りに行うことが出来た。社会福祉法人ゆずりは会さんでの田植え・稲刈り体験も3回目となり、保護者の方も期待しているという声もあった。ゆずりは会の利用者の方とも交流を図りながら、子ども達にとっては貴重な体験ができた。自然派農法の為、安心安全なお米ができた。また、今回は市内の高柳さんのご協力により、年中組のジャガイモ堀体験もできた。例年年度末に行っていたいちご狩りについては、行事が年度末が忙しくなってしまうために比較的予定が組みやすい5月に行うことが出来た。

親子通園事業でペアレントトレーニングの開催があり、研修に職員も参加することで、保護者のかたとの話も聞くことが出来、貴重な経験となった。

SDGs に関しても、今年度も年長組がオンライン、きちゅうフレンズに参加し、水や海のゴミ、気候変動など世界で困っている事を学ぶ機会を持つことができたことや、沖縄や北海道の農家の方とオンラインでつながり、果物がどうやって実をつけるのか、気候はどんな感じのかなど直接聞くことが出来、また生産者からマンゴーやパイナップル、サトウキビなど送っていただいたことで果物に触れることが出来た。

## 2) 食育

今年度も離乳食・アレルギー食対応を引き続き行っている。また、栄養士による食育を実施。

各年齢の成長段階にあった食育を担当と栄養士で意見交換し、食育を実施している。

うどん作り、クッキーづくり、すしバイキングを行った。

特別保育では、カレー作り（ハウスよりいただく）を行うことで、料理への興味・関

心が持てる様心掛けた。

月に1回の給食会議では、職員と給食担当者が意見交換をし、行事食は子ども達が目でも楽しめるメニューとなっていた。年長組は、テーブルマナーを行い、コース料理体験ができた。

今年度は、月1回日本の郷土料理を出していただくことで、普段食べていない郷土料理にも触れることができた。

### 3) 地域・小学校への関わり

地域の行事にも参加することが出来てきたので、さらに地域の方との交流を考えていきたいと思う。

### 4) その他

今年度もオンラインでの研修を受けられる機会が増えたことで、職員研修する機会が増えていた。キャリアアップ研修も積極的に参加をした。中堅職員以上の職員に対しては、保育の研修だけでなく、運営面にも目を向けてもらうような研修にも参加した。(管理職研修・中堅職員研修など) また、海外研修にも参加することが出来、職員の視野を広げるきっかけづくりになればよいと考えている。

また、様々なライフステージでの働き方について考えるきっかけとして、キャリアコンサルタントの方との面談を行うこと、福利厚生として耳つぼや腸もみなど希望者が行えることで、自分の体のメンテナンスが出来るようにした。

また、資産形成の話なども職員だけでなく、希望する保護者にも話を聞く機会を作

ることが出来た。

園での開催ではないが、新型コロナウイルス流行時にキッズニア遠足に行けなかった卒園児を対象に年度末に希望者をキッズニア遠足に連れていった。30名の参加となり、卒園してもつながる機会を作ることが出来良かった。

## 5) 特別保育の実施状況

### ①ゆたか保育園（1号定員15名、2, 3号定員 120名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号	7	5	5	4	4	6	7	7	7	7	7	7
2, 3号	110	114	119	120	118	118	116	117	117	117	117	117

延長保育事業（標準時間認定） 18時～19時 年間延べ利用者数 171人

（令和5年度 138人）

（短時間認定） 早朝1時間延長 年間延べ利用者数 1人

後1時間延長 年間延べ利用者数 849人

後2時間延長 年間延べ利用者数 61人

休日保育事業 64日開所 年間延べ利用者数 443人

（令和5年度 61日開所 年間延べ利用者数 291人）

病児・病後児保育事業（体調不良児型）年間延べ利用者数 77人

（令和5年度 年間延べ利用者数 94人）

病後児保育事業（伊勢崎市補助事業）年間延べ利用者数 4人

(令和5年度 年間延べ利用者数 7人)

一時預かり事業 (自主事業) 年間延べ利用者数 89人

(令和5年度 年間延べ利用者数 82人)

②ゆたか第二保育園 (1号定員 5名 2, 3号定員 45名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2, 3号	38	40	40	41	41	41	41	41	41	41	41	41

延長保育事業 7時～8時 年間延べ利用者数 0人 (令和5年度 62人)

8時～9時 年間延べ利用者数 2822人 (令和5年度 1992人)

9時～10時 年間延べ利用者数 5108人 (令和5年度 3671人)

10時～11時 年間延べ利用者数 760人 (令和5年度 2005人)

22時～23時 年間延べ利用者数 0人 (令和5年度 0人)

23時～24時 年間延べ利用者数 0人 (令和5年度 0人)

一時預かり事業 (自主事業)

年間延べ利用者数 64人 (令和5年度 87人)

ゆたか保育園・ゆたか児童クラブ対応

年間延べ利用者数 6人 (令和5年度 8人)

児童クラブ（自主事業） 1年生から6年生 6名

### 5) 資質向上の取り組み

園外での対面研修にも積極的に参加した。非常勤の職員に対しては、オンライン動画などで、勤務時間内に対応できるようにした。海外研修にも5名の参加もした。

伊勢崎市の障害児の保育所応援研修の機会を利用し、障害児を持つ親、障害を持つ当事者の方の話聞くことで、実際に困っている事や対応を知る機会を作った。

### 6) 苦情および要望

特になし

要望・質問として

特になし

### ③ゆたか児童クラブ

#### 1) 利用児童数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常時	50	43	40	46	49	46	47	41	38	31	16	21	468
一時	169	148	209	203	134	147	142	151	142	177	442	428	2492
開設	27	28	26	26	30	28	28	28	26	20	24	25	316
平均	56	48	48	54	53	51	52	46	43	40	34	34	559

2) 資質向上について オンラインでの研修には積極的に参加した。

3) 小学校終了後の児童クラブへの登園について、連絡の行き違いがあり家に帰ってしまう

子がいたので、連絡調整を密に行うようにしていった。

## 令和6年度 事業報告書（支援内容）

今年度の取り組みについて記入。

### 1. 支援内容について

#### A. 放課後児童の健康管理、安全管理、及び情緒の安定について

顔色や元気があるかないか、いつもと違うところがないかなど支援員全体でチェックをしていた。  
遊具や危険場所をチェックし、子供たちが危険がないように気を付けていた。  
出席予定時の子が登園していない場合は、保護者に連絡を取るなど確認をするようにした。  
アレルギー時に関しては、事務室に情報共有が出来るようにした。

#### B. 遊びの活動への意欲と態度の形成について

子どもたちの遊びの希望を聞き出し、何をしたいか、一緒に遊びたいかなど決めるようにしていた。  
子どもたちと一緒に遊ぶ支援員と、見守りをする支援員と役割分けをして、子供たちが安心して過ごせるようにした。

#### C. 自主性、社会性及び創造性を培うための指導について

室内清掃をみんなでやることをきめ、支援員も一緒に行うことで片づけの仕方や掃除の見本を示すようにした。  
また、廃材を使用した製作や、オンラインによる社会見学なども行った。

#### D. 家庭や地域での遊びの環境づくりに関することについて

近くの公園を利用し遊んだり、法人内で開催されるこども食堂の周知なども行い、地域のかかわりについての情報提供を行った。

### 2. 支援員等の資質向上への取り組みについて

研修に積極的に参加し、参加できなかった支援員にも報告を行うことで、資質向上を図った。また、利用児童や保護者の声を聴くことで、行事や運営についての取り組みについても見直すようにした。

### 3. 事業計画の達成度について

保護者への連絡がうまくいかないことがあったり、情報不足からくる意見等をいただいたことで、次年度につなげられるように職員体制を増やすこととした。

親子通園

	かるがも (4月～3月 : 61名)			土曜広場ポケット (4月～3月 : 28名)		
	業務日数	延利用人数	実利用人数	業務日数	延利用人数	実利用人数
4月	22	76	21	2	13	9
5月	21	94	28	1	6	6
6月	20	101	26	2	9	5
7月	22	112	24	2	12	8
8月	21	70	19	2	6	5
9月	19	88	26	2	11	9
10月	22	110	27	2	16	12
11月	20	105	30	2	14	10
12月	20	110	29	2	10	9
1月	19	116	31	2	4	4
2月	18	116	29	2	9	5
3月	20	129	29	2	9	7
計	224	1227	319	23	119	89

社会福祉法人 植竹会  
特別養護老人ホームゆたか他（高齢部門）  
令和6年度 事業報告

特別養護老人ホームゆたか  
(ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか含む)  
(ゆたかショートステイ含む)

ゆたかデイサービス

ケアハウスうえたけ

ゆたか居宅介護支援事業所

伊勢崎市地域包括支援センター豊受  
(伊勢崎市高齢者相談センター豊受)

基本方針（高齢部門）

- (1) 高齢者と共に社会全体の構成者として個人を尊重し、人間らしさの追求をめざした生活の場とする。
- (2) 利用者が自立意識を維持し、また高めるように、利用者の生活に総合的に関わりまた援助し、且つゆったりとした生活ができるように環境を整える。
- (3) 地域福祉の拠点として、その役割と責任を担う意識を高め、行政、住民、地域社会、団体等と協力できるようにする。

## 令和6年度 事業報告（高齢部門全体）

### テーマ：「コロナ明けの福祉実践」

コロナ感染症が5類指定となり人の交流も含めて動きが活発になったが、相変わらずコロナ感染が散見され、施設内で何度か感染対応があった。地域との関わり再開を目指したもののなかなか元通りにはできなかった。地域住民の生活課題の解決に向けた支援を行う役割が増えつつあるので、再度法人施設が地域共生社会の実現において不可欠な存在であることを認識し行動する。創意と工夫、知恵を出し合い、今後も利用者や地域に対して有益な事業形態を考え、多様化する社会や地域にマッチした福祉を創造し、地域福祉向上に努める。

#### 重点課題

- コロナ対応をしつつ福祉専門職として、理論の習得と実践を通し、介護や生活支援の技術やスキルを高めた。管理職・リーダー研修を実施し、各フロアのマネジメント向上を図った。
- 外国人労働者や元気な高齢者（アクティブシニア）など多様な働き手の採用を行い、多様性を意識した組織づくりを進めた。
- 地域住民が集い交流する場の創造提供や地域住民に対する福祉に関する研修会の開催など、地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための取り組みを行えた。
- 法人施設のICT（情報通信技術）化を今後も進め、職員の業務負担軽減と利用者や家族への情報提供を進める。

#### 具体化

- 人財の確保、育成、定着にて、求人方法の多様化させ、日常から施設に関わる人財を増やした。専門職研修、管理職研修等を進める。
- チームマネジメントとして、チームで仕事をするための組織づくり、スタッフ同士の相談や困りごと等話し合いや共有できる場や機会は少なかった。
- 業務の見える化とICT化として、業務効率化に向け業務プロセスを洗い出し見える化は低調だった。今後もマニュアルの見える化（画像や動画）、ICTの活用場面を増やしたい。
- 広報活動として、ホームページの更新は行えた。SNSはまずFacebookを開始し、外部発信の広報活用をスタートできた。今後は動画の活用、スタッフコーナー作成、福祉大や市社協等ボランティア育成等の為の情報提供をしたい。
- 地域に向けた活動として、地域各種団体との接点は徐々に持てた。子ども食堂や知ってもらおう介護の仕事（四中）等、地域への種まきを継続できた。
- 防災対策や感染対策への取り組みで、防災訓練やBCP（事業継続計画）の訓練、研修を行うことができ、計画のブラッシュアップをした。

令和6年度 特別養護老人ホームゆたか 事業報告  
(ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか及びショートステイを含む)

○利用者が自立意識を高め、快適な生活環境をつくる

常に利用者の状態と能力の把握に努め、その方ができることを継続できるように関わった。生活歴や趣味趣向等を知り、それを活かした個人活動や集団行事へも反映は低調だった。コロナ陽性が散見され、感染対策を時より行った。重度化防止のために個人個人のケアプランを今後も繰り返し見直し、安心できる生活空間の継続を目指したい。

○介護事故ゼロを目指す

介護技術やスキルの向上を図り、利用者の安全に配慮し事故を減少を目指した。リスクマネジメントの観点から起きた事故の多角的分析を行い、職員間、部署間での情報共有（ビデオも使い）を図り、事故の再発防止に努めた。

○職員育成のために継続的な資質向上を目指す

オンラインも含めた研修会や勉強会へ積極的参加を行った。習得したことを日常のケアの中で積極的に活かすように心掛けた。

○職員の離職防止・定着を目指す

職場内のコミュニケーションを活性化し、各職員が活躍できる職場を目指した。情報共有を積極的に行い、職員間の関係性を良好に保つようケアコラボやラインワークスを多用した。ICT化のためのデモ機を試行した。情報共有を高め、業務の効率化、負担軽減等を目指し、職員のエンゲージメント向上を今後も目指す。

○認知症や自立支援への取り組みをする

記録の電子化で家族との情報の共有を高め、利用者や家族の満足度向上に貢献できたと思う。施設からの情報発信をSNS等利用して広報活動を進める。

## 令和6年度 委員会報告

### ○感染症対策委員会

新型コロナウイルス感染症は5類に移行になりましたが、高齢施設では重症化リスクは変わらないことから感染症予防の発信を続けていきました。

加えて今年度は、初動対応の統一を発信していき対策をしていましたが、10月にコロナ感染症、1月にインフルエンザの発症が、各1フロアずつでありました。

フロア対応した中での反省点や改善点は来年度につなげていきます。

### ○事故防止対策委員会

今年度は、「ヒヤリハット報告書の推進」と、「事故報告書の活用」を目標に職員に働きかけながら活動を行いました。

ヒヤリハットの推進は、職員研修の議題にもあげ、事故を未然に防ぐための予防にも繋がる事等を周知し、少しずつヒヤリハットの報告が推進してきましたので、今後も、発信していきます。

また、事故報告書の活用では、起きた事故を検証し原因の確認や介助方法の見直しを行い再発防止に今後も努めていきます。

### ○身体拘束適正化委員会

現在1名、経管栄養注入中にミトン使用のため身体拘束対応中の方がおります。

拘束の解除にむけて検討していますが、現時点では解除は難しいため、注入時間のみミトン使用となっています。職員全体研修でも身体拘束の在り方を説明し、今後も、解除に向けて検討を続けていきます。

### ○虐待防止委員会

今年度は、「高齢者虐待防止に向けて意識を高めていく」を目標に活動を行いました。職員研修では、虐待へ繋がる要因の一つであると言われている職員のストレスを取り上げ、チェックリストの実施やストレスコントロールについて学びました。

今後も、不適切な言動や対応が虐待に繋がっていく事を念頭におき、感情のコントロールを行いながら対応していきます。

### ○認知症委員会

「施設で生活する認知症の利用者さんへの理解を深め、職員一人一人が適切なアプローチができるように委員会がサポートしていく」を目標に行動記録を取りながら活動を行いました。利用者さんの様子は日々変化していきますが、自分達も利用者さんにとっての環境要因である事を忘れず、一人一人の状況に合わせた対応を心掛けていきます。

### ○口腔ケア委員会

委員会を中心に入所時と毎月1回口腔内のスクリーニングを行い、口腔内の確認や清潔保持を行ってきました。今後も一人一人にあった口腔ケアを行い、口腔内の清潔を保ち誤嚥性肺炎の予防に繋がっていきます。

### ○褥瘡委員会

今年度は、7名の褥瘡の発生がありました。年度末時点で2名が処置継続になっています。普段からできる予防策として寝具類の整備・ポジショニングも重要である事から、排泄皮膚認定看護師さんを講師に招き、褥瘡予防の知識向上やポジショニングについて研修会を実施しました。

研修会で学んだ事を活かせるよう委員会から発信していきます。

### ○リスクマネジメント委員会

毎月の経営会議の中でリスクマネジメント・業務改善・喀痰吸引の3項目も検討しました。今年度、喀痰吸引資格取得に向けて施設内での研修を設けていただきましたので、より柔軟に対応していける環境ができました。

今後も、各フロア主任を中心に施設全体の介護技術の向上に努めていきます。

### ○給食向上委員会

食事に対して、興味・関心を持たれている利用者さんは多いので、今後も楽しみの一つとしての食事になるよう提供をしていきます。

### ○BCP委員会

BCP計画をもとに訓練や研修を行いました。

まだまだ、周知段階の部分もありますので、職員研修で周知していくとともに訓練を実施し、計画の見直しを行い、感染症や災害の発生時にも業務が継続していけるよう施設・各フロアにあったBCP計画を目指し今後も見直しを行っていきます。

### 事故報告

	長期入所
転倒・転落・ずり落ち	53
誤薬	1
皮膚剥離・切傷・擦過傷	43
内出血・痣	12
打撲	1
誤嚥	5
骨折	3

・ヒヤリハット 104件

・苦情 1件

介助時の対応について不快感を抱く事があったので、対応方法を確認して欲しい。

令和6年度 入退所者数

- ・従来型 入所者数 39名 退所者数 19名(うち看取り 5名)
- ・ユニット型 入所者数 6名 退所者数 5名(うち看取り 1名)

従来型		
	入所者	退所者
4月	3	0
5月	0	4
6月	3	0
7月	1	2
8月	2	0
9月	0	1
10月	1	0
11月	2	4
12月	2	2
1月	20	2
2月	1	1
3月	4	3
合計	39	19

ユニット型		
	入所者	退所者
4月	3	1
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	1
12月	1	2
1月	0	0
2月	1	0
3月	1	1
合計	6	5

令和6年度

特別養護老人ホームゆたか(従来型、ユニット型)行事報告

月	フロア	実施内容	場所
4月	2F、新館、ユニット 3F	お花見 お茶会	豊受小学校 施設内
5月	新館 3F	母の日 鯉のぼり作り ガーデニング	施設内
6月	3F	おやつ作り	施設内
7月	新館 3F 2F、ユニット	流しそうめん あさがお鑑賞会 七夕	施設内
8月	新館	かき氷	施設内
9月	全フロア	敬老会	施設内
11月	3F	おやつ作り	施設内
12月	全フロア	クリスマス会	施設内
1月	全フロア	新年会	施設内
2月	全フロア	節分	施設内
3月	全フロア	ひな祭り	施設内

令和6年度 委員会・施設内研修実施報告

委員会

- 事故対策委員会(1回/2月(奇数月)第2水曜日 10:30)  
5/8 7/10 8/5 9/11 11/13 1/15 3/12
- 感染対策委員会(1回/2月(偶数月)第1水曜日 10:30)  
4/3 6/5 8/7 10/2 12/4 2/5
- 身体拘束適正化委員会(1回/2月(奇数月)第2水曜日 10:30)  
5/1 7/3 9/4 11/6 1/8 3/5
- 認知症委員会(1回/2月(奇数月)第2水曜日 10:30)  
4/10 6/11 8/14 10/9 12/11 2/12
- 介護力向上委員会「水分・排泄」(1回/2月(奇数月)最終水曜日 10:30)  
5/29 7/31 9/25 11/27 1/29 3/26
- 口腔ケア委員会(2回/年 最終水曜日 14:00)  
5/29 11/27
- 褥瘡予防対策委員会(1回/1月 第3水曜日 10:30)  
4/17 5/15 6/19 7/17 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18 1/22 2/19 3/19
- リスクマネジメント・たん吸引委員会(毎月第1月曜日 14:00)  
4/1 5/7 6/3 7/1 8/5 9/2 10/7 12/2 1/6 2/3 3/3
- 給食向上委員会(1回/1月(奇数月)第1金曜日 14:00)  
4/5 5/10 6/7 7/5 8/2 9/6 11/8 12/6 1/10
- 入所検討委員会(1回/2月(奇数月)第3火曜日 15:00)  
5/14 7/16 9/17 11/19 1/14 3/25
- 虐待防止委員会(1回/2月(奇数月)第1水曜日 10:30)  
5/13 7/8 9/9 11/11 1/20 3/10
- BCP委員会  
9/2 1/6 3/3

全体研修

- 感染症・事故(2年/年 7月、10月) 8/30 12/12
- 身体拘束(2回/年) 7/26 3/13
- 看取り・リスクマネジメント(1回/年) 11/29
- たん吸引(1回/年) 12/12
- 褥瘡(1回/年) 7/19 11/29
- 防犯 7/26
- 虐待 7/26 3/13
- ハラスメント防止 3/13 1/22
- BCP(2回/年) 12/6 2/21
- 自立支援総合研修 12/9~12/20
- 非常勤職員研修 12/13
- リーダー職員研修 12/11 12/18 12/25 1/15 1/29 2/12 2/26 3/12 3/26
- BCP訓練(2回/年) 11/7(感染) 2/3(水害)

## 会議

○経営会議(1回/1月 第1月曜日 14:00)

4/1 5/7 6/3 7/1 8/5 9/2 10/7 12/2 1/6 2/3 3/3

○カンファレンス会議

(2階) 5/12 6/7 7/22 8/13 9/10 10/8 11/22

(3階) 5/1 7/3 9/4 12/4 2/5 3/5

(ユニット) 4/22 5/21 6/19 7/17 8/21 9/18 12/18 2/19

(新館) 4/23 5/28 7/23 8/27 9/24 12/24

○ユニット運営推進会議(2回/2月 奇数月 第3火曜日)

5/14 7/16 9/17 11/19 1/14 3/25

## 防災訓練

○防災訓練(2回/1年) 6/21 3/22

## 地域との交流・訪問事業

○伊勢崎市立第四中学校1年生「知ってもらおう介護の仕事」→実施 1/16

○ゆたか祭り→コロナ感染防止の為中止

○伊勢崎市立豊受小学校6年生「認知症講座」→コロナ感染防止の為中止

○馬見塚本町作品展→実施 11/9.10

○四中チャレンジウィーク 10/8~10/10

○ゆたかごはん 4/20 5/18 6/15 9/21 11/9 12/21 2/15 3/15

令和6年度 特養(従来型)実績

月		介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実			7	25	17	49
	延べ			196	705	510	1411
5月	実			7	25	17	49
	延べ			203	696	527	1426
6月	実			8	24	17	49
	延べ			227	670	486	1383
7月	実			8	25	17	50
	延べ			242	749	498	1489
8月	実			9	23	16	48
	延べ			252	696	465	1413
9月	実			9	25	16	50
	延べ			269	661	480	1410
10月	実			9	25	16	50
	延べ			279	681	496	1456
11月	実			10	24	16	50
	延べ			240	690	509	1439
12月	実			10	23	14	47
	延べ			298	701	417	1416
1月	実			14	32	20	66
	延べ			434	938	620	1992
2月	実			15	31	20	66
	延べ			364	821	525	1710
3月	実			15	33	20	68
	延べ			461	958	594	2013
合計	実			121	315	206	642
	延べ			3465	8966	6127	18558

令和6年度 特養(ユニット型)実績

月		介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実			5	9	6	20
	延べ			150	270	180	600
5月	実			5	10	5	20
	延べ			155	310	155	620
6月	実			5	10	5	20
	延べ			150	290	150	590
7月	実			5	9	5	19
	延べ			155	279	155	589
8月	実			5	10	5	20
	延べ			155	310	155	620
9月	実			4	11	5	20
	延べ			124	338	155	617
10月	実			4	11	5	20
	延べ			124	338	155	617
11月	実			4	11	5	20
	延べ			120	304	150	574
12月	実			4	9	6	19
	延べ			124	271	178	573
1月	実			3	9	6	18
	延べ			93	267	186	546
2月	実			4	9	6	19
	延べ			112	227	168	507
3月	実			3	10	7	20
	延べ			93	296	206	595
合計	実			51	118	66	235
	延べ			1555	3500	1993	7048

令和6年度 ショートステイ実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実			3	4	14	14	4	39
	延べ			36	67	416	363	120	1002
5月	実		1	3	5	18	16	4	47
	延べ		3	38	71	484	382	124	1102
6月	実			4	4	15	17	5	45
	延べ			38	66	413	434	128	1079
7月	実			4	6	15	19	5	49
	延べ			38	73	437	452	149	1149
8月	実			4	5	13	17	4	43
	延べ			67	75	403	445	128	1118
9月	実			3	6	15	18	5	47
	延べ			35	104	405	434	130	1108
10月	実			2	9	15	17	5	48
	延べ			33	102	435	431	153	1154
11月	実			3	8	15	19	5	50
	延べ			34	83	424	431	131	1103
12月	実			3	8	16	17	5	49
	延べ			59	109	438	409	156	1171
1月	実	1		3	6	12	3	1	26
	延べ	11		35	101	316	63	10	536
2月	実			1	9	11	4	0	25
	延べ			28	118	288	71	0	505
3月	実			1	8	13	3	0	25
	延べ			31	104	338	67	0	540
合計	実	1	1	34	78	172	164	43	493
	延べ	11	3	472	1073	4797	3982	1229	11567

## 令和6年度 ゆたかデイサービスセンター 事業報告

利用者、家族等からは概ね満足できる事業は展開された。個人個人においては、少しの不満等は聞かれたが、傾聴しながら打開策を講じて対応していた。大きな事故や怪我もなく送れた。感染症においては、少しずつ見られていたが、令和7年2月～3月にかけて、蔓延がみられた。

人員の不安定さがあり、業務の変更を行ったり、今まで出来た事が出来なくなってしまうたりした。利用者も一時受け入れ中止を余儀なく実施し、登録も大幅に減少した為、稼働率は低いままである。

○利用者の目標に合わせた通所介護計画書等を作成し、各自に合わせたサービス提供が行えた。

- ・入浴や個別レクリエーション、運動、体操、フットマッサージ等の実施ができた
- ・利用者や家族の意向に柔軟に対応できた
- ・状況に応じた業務の変更等が柔軟に行えた

○多職種や地域との交流等は、少しずつ回復してできるようになった

- ・慰問や体験利用、見学などが出来るようになった
- ・家族との自宅での会議やケアマネ訪問など対面での会話が増えた
- ・電話やFAX、お便り帳などでも情報交換が行え、問題なく情報の共有化ができた
- ・新聞を毎月発行して情報発信ができ、楽しく読んでくれている

○感染症や災害対策などにおいては、BCPを作成して、職員の意識の統一を図っている

- ・感染症は常に発生していたが、蔓延する事なく過ごせていたが、令和7年2月～3月にかけて蔓延がみられた

○研修会や勉強会においては、ZOOMの活用や全体研修や委員会への参加が実施でき、資料配布等において実施し、それを基に職員同士で考え、話し合う事が出来た。

- ・業務においてのマニュアル等を再作成し、職員同士で分かり易く、目で見えてわかるようになった
- ・申し送りやカンファレンスにより、職員同士が共通認識を持ちながら対応等が検討できた
- ・疑問や不満等些細な事まで話し合えるようになった

令和6年度 ゆたかデイサービスセンター 行事報告

月	行事	内容	個別レクリエーション
4月	端午の節句作り パンの選択制 桜の花見	鯉のぼりの作成 パンの日にちなんで、パンを選んで食べる 送迎時に車内から桜見物	タオル体操
5月	菖蒲湯 母の日	端午の節句 カーネーションを作る	あじさい制作
6月	父の日 おやつバイキング	カーネーション(黄色)を作る 選択制おやつ	うちわ作り
7月	七夕飾り アイスクリームパーティー	短冊に願いを書き、竹に飾る 暑い日乗り越える為、トッピング等を選ぶ	洗濯ばさみ付け放題
8月	納涼祭	夏祭りの輪投げ、ヨーヨー釣り、駄菓子屋を回る 塗り絵、写真撮影	
9月	敬老会	お祝いカードを作る(顔写真入り)	目と目の運動
10月	運動会	運動系のレクリエーションを行う (玉入れ、タオル回し、サイコロ転がし、ジャンケンゲーム、借り物競争)	ハロウィンの貼り絵 目指せ150g (本来は8月予定)
11月	ガーデニング 温かい飲み物会 おやつバイキング	多肉植物の寄せ植え(園芸療法) 冬を迎える準備で温かい飲み物を選んで飲む お好みのおやつを選んで頂く	肩たたき棒
12月	忘年会 ゆず湯 クリスマス会	お楽しみメニュー(鍋) 冬至の習慣を味わう クリスマスカードの制作とお祝いをする	年賀状制作
1月	初詣	ゆたか神社で初詣をする	絵馬を書こう
2月	節分会 ひな人形作り	職員が鬼になり、豆まきを行う ひな人形を制作	春の壁飾り制作
3月	おやつバイキング	選択制おやつ	綿棒を四角に置く ゲーム

※毎月、誕生日会・お楽しみメニューを実施

※レクリエーションにて季節感あるイベントを実施する

令和6年度 デイサービス実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	5	6	17	16	16	4	1	65
	延べ	21	48	202	190	231	32	12	736
5月	実	5	5	20	18	15	5	1	69
	延べ	19	43	232	205	232	40	13	784
6月	実	5	5	20	18	16	5	1	70
	延べ	21	41	217	189	231	42	10	751
7月	実	6	5	18	17	17	7	1	71
	延べ	36	51	236	188	262	58	12	843
8月	実	6	6	18	17	16	7	1	71
	延べ	22	58	212	210	250	69	8	829
9月	実	6	5	17	17	17	6	1	69
	延べ	22	30	185	179	241	62	9	728
10月	実	6	5	18	17	17	6	1	70
	延べ	25	33	201	176	268	57	9	769
11月	実	6	5	17	16	14	7	1	66
	延べ	23	30	204	185	215	65	8	730
12月	実	6	6	16	16	14	8	1	67
	延べ	22	28	184	151	213	64	7	669
1月	実	5	4	16	16	15	7	1	64
	延べ	17	33	178	152	207	64	9	660
2月	実	5	4	15	17	16	7	1	65
	延べ	15	22	162	176	206	67	7	655
3月	実	6	4	13	19	16	7	1	66
	延べ	20	23	134	222	206	78	8	691
合計	実	67	60	205	204	189	76	12	813
	延べ	263	440	2347	2223	2762	698	112	8845

## 令和6年度 ケアハウスうえたけ 事業報告

目標：利用者がその人らしい生活を送れるように、QOL向上に努める。

結果：心身ともに健康であることを目指し、取り組んできたが、  
病気や加齢の影響でADLの低下がみられる方が多くなったと感じた。  
能力の差が広がる中でどのようなアプローチをしていくのか、  
今後しっかりと考えていきたい。

○ADLの低下を防ぐため、映像を使ってのリハビリを週1回30分程度  
目安に行い、1日2回のラジオ体操への参加を促し、月1回の脳トレや  
制作活動を通して、体力、ADLの維持及びフレイル予防に努めた。  
しかし、脳トレやレクなどの参加率が低下しており、今後の活動に  
どのような取り組みを入れるのか、考えていきたい。

○外出行事の機会を多く設け、個別外出や買い物ツアーだけでなく、  
カラオケツアーなど新しい試みを行ったり、NPO きなねの訪問等  
前年度よりも多様の楽しみを提供できるように企画し、開催した。  
多くのイベントは好評であったが、利用者のADLの低下もあり  
安全面での確認をさらに考えていきたいと思う。

職員：対面での情報交換会で、他のケアハウスの状況や取り組みを  
聞く機会が増え、うえたけの長所（外出行事の充実やイベントの多さ）  
を認識することができた。この良さを活かせるように創意工夫を行い  
成長できるように努めていきたい。

令和6年度 ケアハウスうえたけ 行事報告

	行事名	内容	費用	備考
毎月	リハビリ体操	DVD を使ったのリハビリ(30分程度)		週1回
	レクリエーション	クイズや脳トレ等、月によって考える		月1回
	制作	折り紙や工作など制作活動を行う		月1回
	個別外出	少人数グループに分け外出を行った		月2回
3カ月毎	うえたけカフェ	ドリンクとお菓子を提供するカフェを開く		4.7.11.1月
	スイーツの日	焼きまんじゅうやケーキなどを頼んで食べる	おやつ代は実費	5.8.11.3月
4月	誕生会	4月の誕生者のお祝い	食事代は実費	高橋・中澤
	外出行事	赤堀せせらぎ公園 鯉のぼりさん回抱く		
5月	誕生会	5月の誕生日者のお祝い	食事代は実費	今井
	買い物ツアー	フレッセイ 富塚店		
	料理クラブ	餃子の皮で作るピザ		
6月	誕生会	6月の誕生者のお祝い	食事代は実費	五十嵐(セ)
	富塚町老人会交流会	雨天の為、野菜収穫は中止		
	外出行事	赤堀花しょうぶ園 紫陽花・しょうぶ散策		
	料理クラブ	フルーツゼリー		
7月	誕生会	7月の誕生者のお祝い	食事代は実費	五十嵐(悦)
	七夕	七夕飾りを行う		
	買い物ツアー	フレッセイ 富塚店		
8月	誕生会	8月の誕生者のお祝い	食事代は実費	竹田・坂庭
	料理クラブ(夏祭り)	やきそば たこやき		
9月	敬老会	長寿を願い、皆様でお祝いする	食事代は実費	
10月	誕生会	10月の誕生者のお祝い	食事代は実費	内山
	ハロウィン	飾り付け		
	保育園児交流会	園児とハロウィン交流会		
	慰問	NPO 法人きなねとの交流会		
11月	カラオケツアー	まねきねこ本庄店		
	お食事会	好きな昼食を選び、召し上がる	食事代は実費	
	馬見塚町作品展	作品の出展及び見学		
12月	冬至	ゆず湯		
	クリスマス会	クリスマスパーティー お食事会		
	富塚店敬老会交流会	白菜と大根の収穫		
	買い物ツアー	ヤオコー本庄店		
1月	新年会	新年のお祝いを祝う お食事会		
2月	誕生会	2月の誕生者のお祝い	食事代は実費	啓子
	買い物ツアー	フレッセイ 富塚店		
	料理クラブ	チョコタルト		
3月	誕生会	3月の誕生者のお祝い	食事代は実費	さく・イセ子
	花見・買い物ツアー	伊勢崎みらい公園・ベルク伊勢崎美茂呂店		高柳・林

## 令和6年度 ゆたか居宅介護支援事業所 事業報告

○ケアプランの質の向上を図り、利用者の尊厳を尊重し住み慣れた地域で暮らし続けられるよう生活全般を支える体制を整え、QOL向上を目指す。

事業所内で事例検討を行い利用者にとってQOL向上できるような支援を検討しました。

○適切なケアマネジメントが実践できるよう、継続してアセスメントや評価を行い、支援内容等について検討を重ねる。また、専門職等との連携を図りながら、インフォーマルな方々や近隣関係者を含めたプラン作成と支援を行う。研修へ積極的に参加し知識を深め、事業所内の情報共有を積極的に行う。

利用者の状態に合わせ再アセスメントや再評価を行い、課題やニーズに対し適切な支援を検討しました。また、多職種との連携を図りながら地域のインフォーマルサービスなどの情報収集を行い、自立支援を促すよう意識しました。

また、介護支援専門員の質の向上や専門性を高める研修へ積極的に参加し、研修後は事業所内での情報共有を行いました。

○地域の関係者や団体等との連携を通し、積極的に関係作りを行う。

利用者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日頃から連携を図っていく。

また、災害時も必要な福祉サービスが継続的に提供できる体制を構築できるよう、業務継続に向けた計画等の算定や研修、訓練を実施していく。

包括主催の介護支援専門員の交流会に参加し、情報共有を行いました。

災害時の業務継続計画（BCP）訓練を年2回、研修を年2回行い、訓練で課題となった点については、業務継続計画（BCP）の見直しを行いました。

○地域福祉のニーズを把握に努め、情報提供や啓発活動を行っていく。

地域住民、関係団体等への情報提供・啓発活動を通し、ニーズの把握に努めていく。

R7年1月16日に伊勢崎第四中学校にて県老協事業「知ってもらおう介護の仕事」の講演を行い介護の仕事についての啓発活動を行いました。今後、地域住民とも交流の機会を作りながら地域のニーズの把握にも努めていきたいと思えます。

○令和6年度の介護保険改正に伴い、制度の変更に合わせ柔軟に対応していく。

制度改正や加算の変更について確認し、事業所内で情報共有を行い対応しました。

29

令和6年度 居宅実績

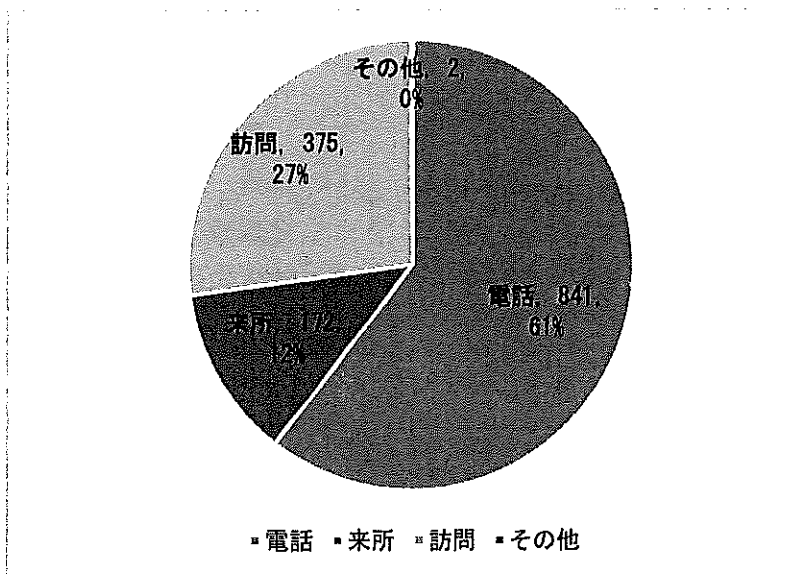
月		介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	20	28	19	22	3	92
	延べ	173	316	219	263	30	1001
5月	実	22	30	21	18	4	95
	延べ	218	335	253	221	39	1066
6月	実	24	29	21	18	4	96
	延べ	201	263	184	195	31	874
7月	実	23	29	20	20	4	96
	延べ	176	293	176	186	32	863
8月	実	23	30	21	19	4	97
	延べ	190	285	207	184	33	899
9月	実	20	31	22	19	4	96
	延べ	157	273	232	185	39	886
10月	実	18	34	22	19	4	97
	延べ	135	338	213	168	32	886
11月	実	17	33	23	20	3	96
	延べ	124	311	241	183	23	882
12月	実	19	32	22	19	2	94
	延べ	153	303	241	187	16	900
1月	実	20	35	20	15	2	92
	延べ	146	343	217	134	16	856
2月	実	19	37	20	10	2	88
	延べ	133	347	223	92	16	811
3月	実	19	37	22	11	1	90
	延べ	140	368	251	95	8	862
合計	実	244	385	253	210	37	1129
	延べ	1946	3775	2657	2093	315	10786

# 令和6年度 伊勢崎市地域包括支援センター豊受 事業報告

はじめに

令和7年1月1日現在の豊受圏域の総人口は18,251人、高齢者数は5,410人、高齢化率は29.6%であった。また、介護度別認定者数は要支援1が122人、要支援2が111人の計233人であり、年々増加傾向にある。

## 1. 相談件数（1,390件、うちケアマネジャーからの相談268件を含む）

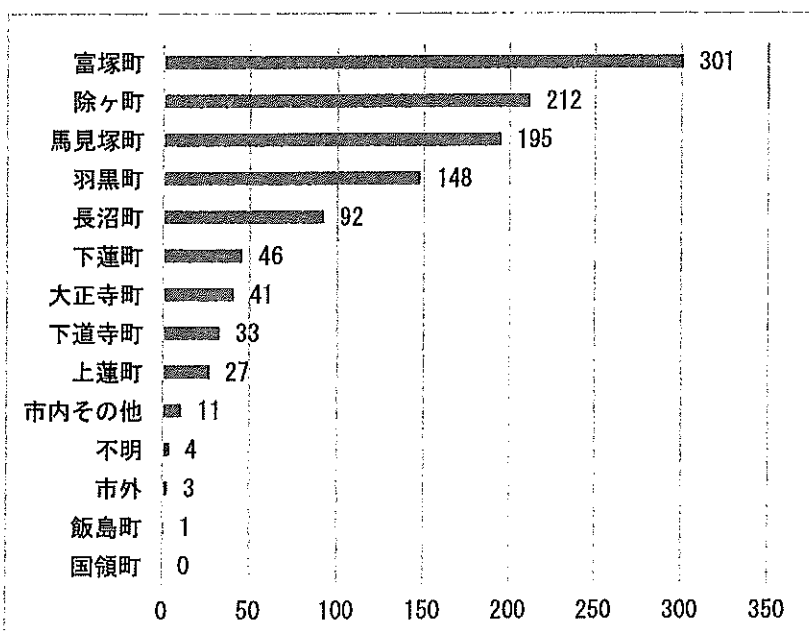


### 【評価】

例年同様、電話相談が最も多く、令和5年度の1,318件と比べ、相談件数が増加していた。令和6年度も高齢者相談センターだよりを回覧板で回した他、ミニデイやふれあいの居場所等に参加し、高齢者相談センター豊受の活動を周知した。これらの活動が相談件数の増加に影響したと考えられる。

また、高齢者相談センターはケアマネジャーの支援の役割も担っており、ケアマネジャーからの相談が267件であった。令和5年度の225件と比較し、ケアマネジャーからの相談件数も増加していた。

## 2. 町別相談件数（1,122件、ケアマネジャーからの相談を除く）

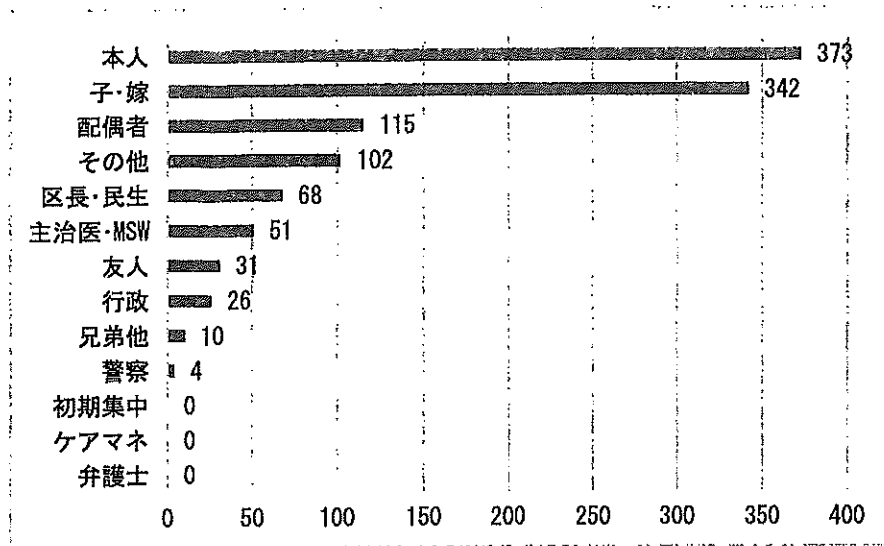


### 【評価】

町別にみた相談件数では、高齢者数と相談件数がほぼ比例する結果であった。馬見塚町リバータウン、除ヶ町、羽黒町等は区画整理された住宅街があり、住宅ができてから数十年が経過し、住民が高齢化しつつある。それらの影響により、今後も相談件数の増加が予想される。

一方、相談が少ない飯島町や国領町は、もともと世帯数が少ないことに加え、家族や親戚、隣近所からの支援により生活できている可能性があると考えられる。

### 3. 相談者の属性 (1,122 件)



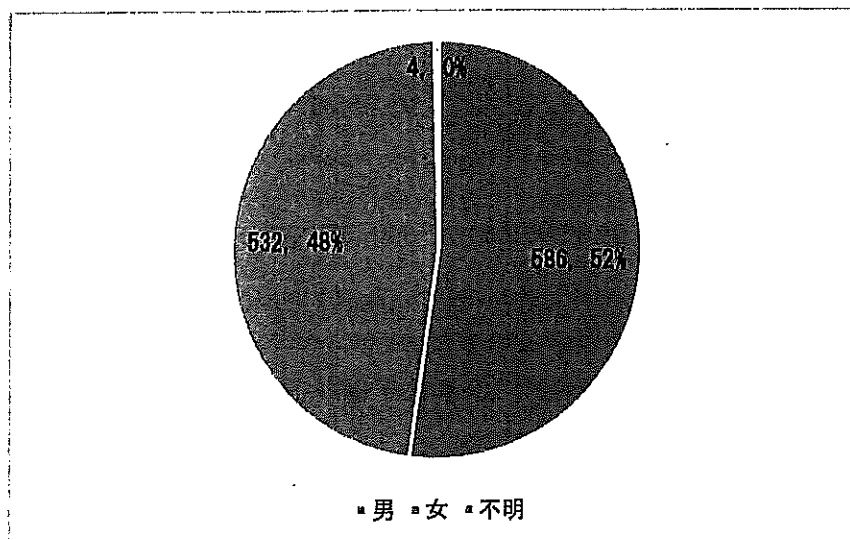
#### 【評価】

これまでは子どもや嫁からの相談が最も多かったが、令和6年度は本人からの相談が最も多かった。これには高齢者のみの世帯数の増加が影響していると考えられる。

主治医・MSW（医療相談員）からの相談では、退院後の生活に関する

相談が多く、病院やケアマネジャーと連携を図りながら比較的スムーズに対応することができた。

### 4. 対象者の性別 (1,122 件)

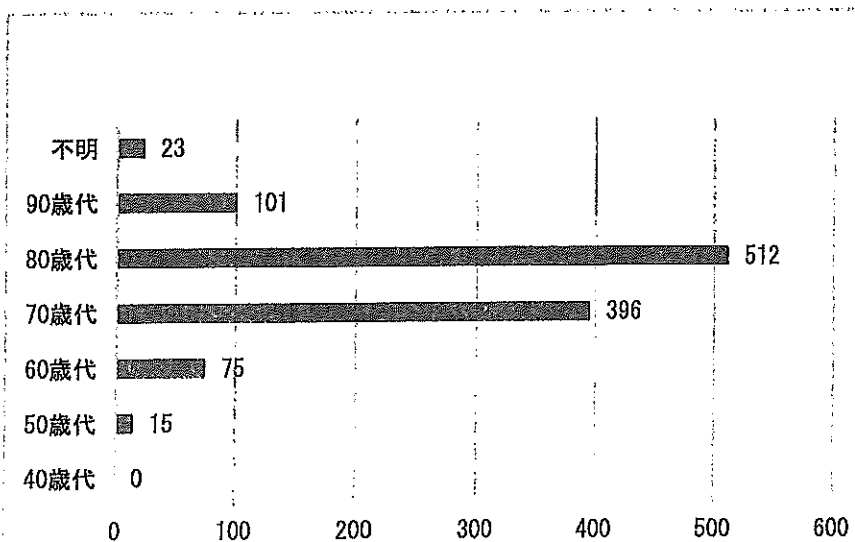


#### 【評価】

対象者の性別はほぼ半々であったが、令和6年度は男性の相談がやや多かった。

ある認知症高齢男性に関する相談が多かったことが結果に影響したと考えられる。

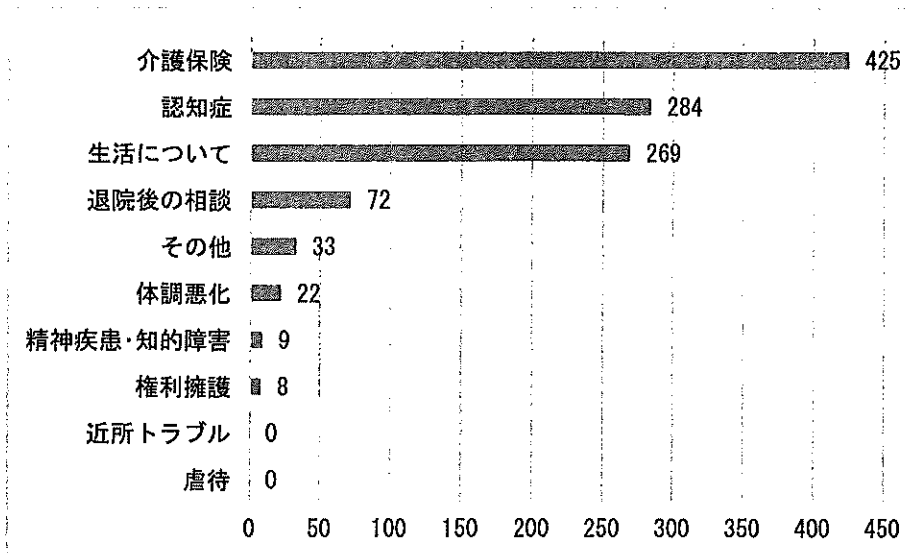
### 5. 対象者の年齢 (1,122 件)



#### 【評価】

80歳代の対象者に関する相談が最も多く、次いで70歳代の対象者に関する相談が多かった。フレイル予防が少しずつ社会で浸透しており、介護予防の視点から、身体機能が著しく低下する前の70歳代の相談が多かったと思われる。

## 6. 相談内容 (1,122 件)



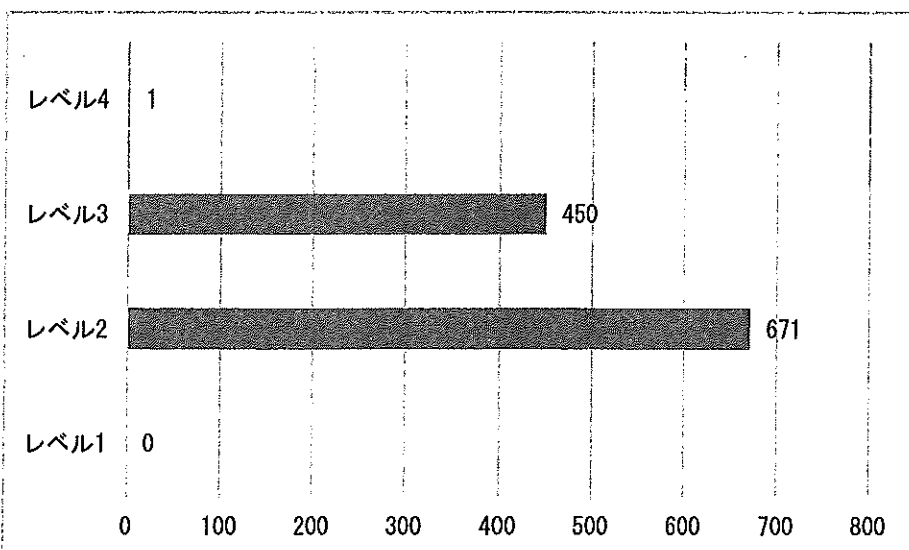
### 【評価】

相談内容の内訳では、介護保険に関する相談が最も多く、次いで認知症に関する相談が多かった。認知症高齢者の増加や認知症に関する知識の広まりが、相談件数の増加に影響したと考える。また、一人暮らし、高齢者の

みの世帯から、生活を継続していく上での心配事や不安に関する相談も多かった。

相談内容は多岐にわたっており、これまで以上に多職種協働や社会資源の把握、発掘が必要と思われる。

## 7. 相談対応 (緊急レベル別、1,122 件)



### 【評価】

レベル1は一般的な問い合わせ、レベル2は相談者の意思で主訴に対する対応が可能だと判断される相談、レベル3は専門的・継続的な関与が必要だと判断される相談、レベル4は緊急対応が必要だと判断される相談を示す。

令和6年度も例年同様、レベル2の相談が最も多く、次いでレベル3であった。レベル3では認知症の事例が多かった。レベル4では、早急に医療機関の受診が必要な事例の対応が1件であった。相談内容と同様に対応これらの事例は、医療機関との連携が不可欠であり、日頃からの連携が重要であると感じた。

#### 【令和6年度の総合評価】

前年同様、介護保険・認知症・医療等の相談が多かったがセンターの看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3職種が連携を図り、専門性を活かしながら対応することができた。その中でも特に、専門性が求められる医療の相談は看護師が中心となり、早急に医療機関や主治医に繋ぐことができたと感じている。また、認知症の問題に対しては、出来る限り本人に寄り添いながら対応しているため、生活改善までに時間を要することもあるが、その人らしい支援に繋がっていると感じている。

#### 【今後の課題】

令和7年度も地域住民にセンターの周知が図れるよう、公民館や集会場等に出向く活動を継続し、介護予防の視点を持ちながら生活していただけるよう取組んだり、総合相談に対しては本人、家族の希望に添いながらサービスや社会資源に繋げ、多職種と協働し問題解決を図っていく。